

# 次世代構造専用 BIM

(BIM 構築、構造図作図、設計数量算出)

# SIRBIM Ver. 1

## 新商品のご案内

拝啓 毎々格別のお引立にあずかり厚く御礼申し上げます。

新製品『SIRBIM』のリリースについて、ご案内申し上げます。

『SIRBIM』は、『SIRCAD』の後継製品ですが、大きくリニューアルしました。建築構造躯体モデルの作成機能をいっそう強化し、さらなるデータ連携機能と BIM 構築機能を搭載した次世代のための構造専用 BIM ソフトです。

2024年1月10日には『SIRBIM』のオプションソフト『SIRBIM/構造図』をリリースいたします。『SIRBIM/構造図』は、構造図（伏図・軸組図・詳細図）の自動作図を行うことができます。今後は、作図機能はもちろん、構造専用 BIM としてのモデリングソフトとしても進化していきます。

『SIRBIM』の主な機能に関しては、下記のとおりです。





お目通しの上、ご購入をご検討くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 主な『SIRBIM』の機能

- Windows 10、Windows 11 (64bit)に対応しています
- 『SIRBIM/入力』に関しての特徴
  - 各種一貫構造計算ソフトで計算した構造躯体モデルをインポートできます  
また、新規に構造躯体モデルを一から入力することもできます
  - 複数の画面を同時に開いて入力可能です
  - 部材定義は、エクセル形式で入力可能です（コピー&ペースト）
  - 下記の部材に関して、断面リスト図を確認しながら入力値を修正できます（リスト図確認機能）  
・基礎、柱、梁

⑤ 部材配置機能としての特徴

-  Undo/Redo 機能があります
-  見上図/見下図を伏図配置しながらボタンクリックで切り替えられます
-  レベル表示/非表示を伏図配置しながらボタンクリックで切り替えられます
- **文字サイズ 11**  配置画面での文字表示サイズをいつでも変更できます
- 全選択機能を設け、全ての部材をマウスで選択して修正可能です
- 選択されている部材は、色が変わりますので、間違えないで入力できます
- 符号を指定してその符号を選択状態にできます (符号検索機能)
- 参照図登録機能を設け、構造図を登録して、伏図・立面配置で参照しながら配置可能です

⑥ 小梁、床 (スラブ) 配置機能の特徴

- 小梁の配置をパターン化し、一度に複数本配置可能です
- 大梁・小梁で囲まれた領域を床として自動認識し、マウス1クリックで配置できます

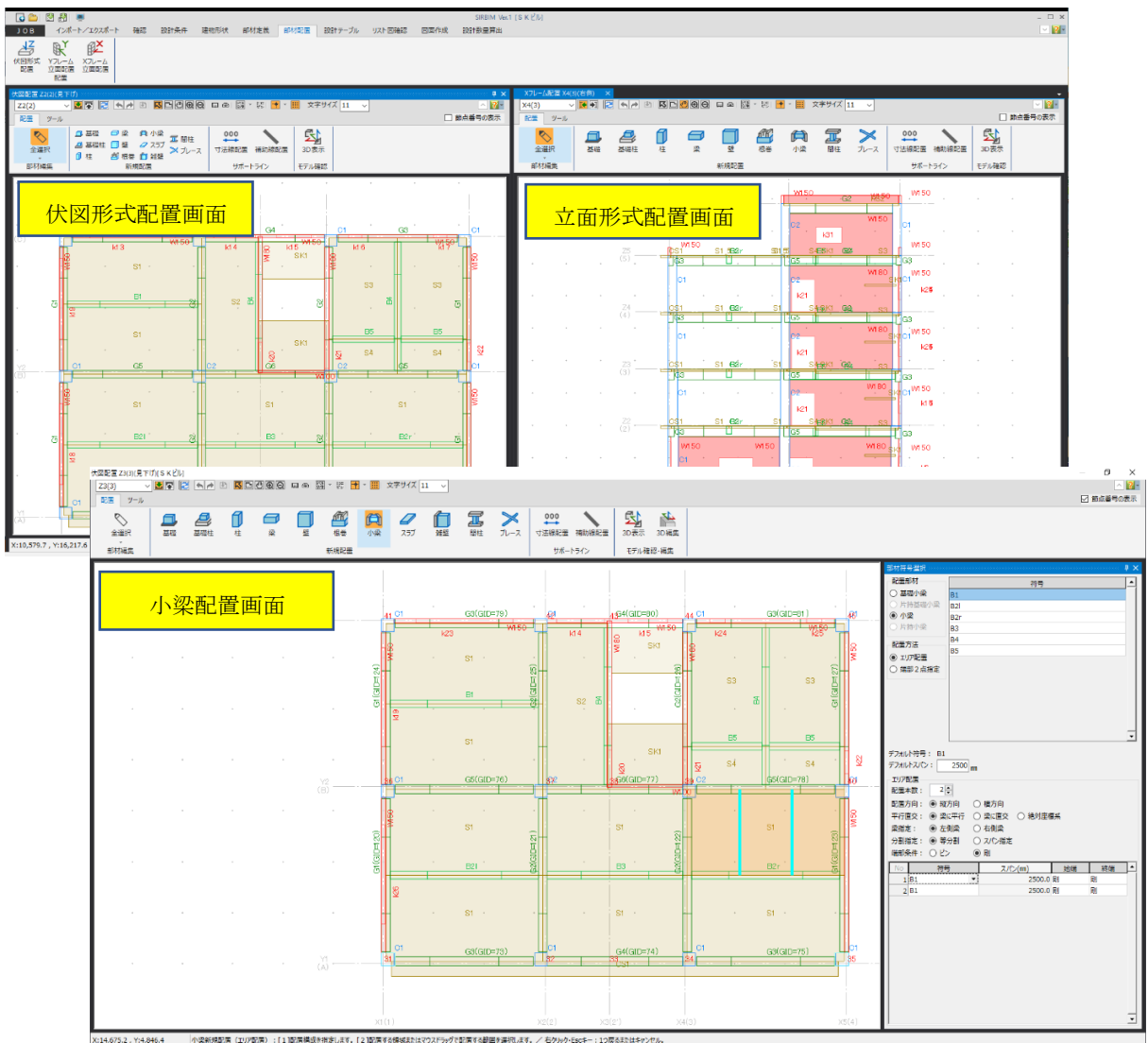
⑦ 「SS7 import」 (Super Build/SS7→SIRBIM) を標準機能にしました

⑧ 「柱・梁継手計算書作成」(SCSS-H97 準拠) を標準機能にしました

この機能を使うことにより、母材から継手情報を作成可能です

また、『SIRBIM/数量』オプション機能で、ボルト、プレートの数量を集計できます

⑨ 設計変更に対応した「差分更新」ツールを標準で搭載いたします (2024年1月10日リリース)

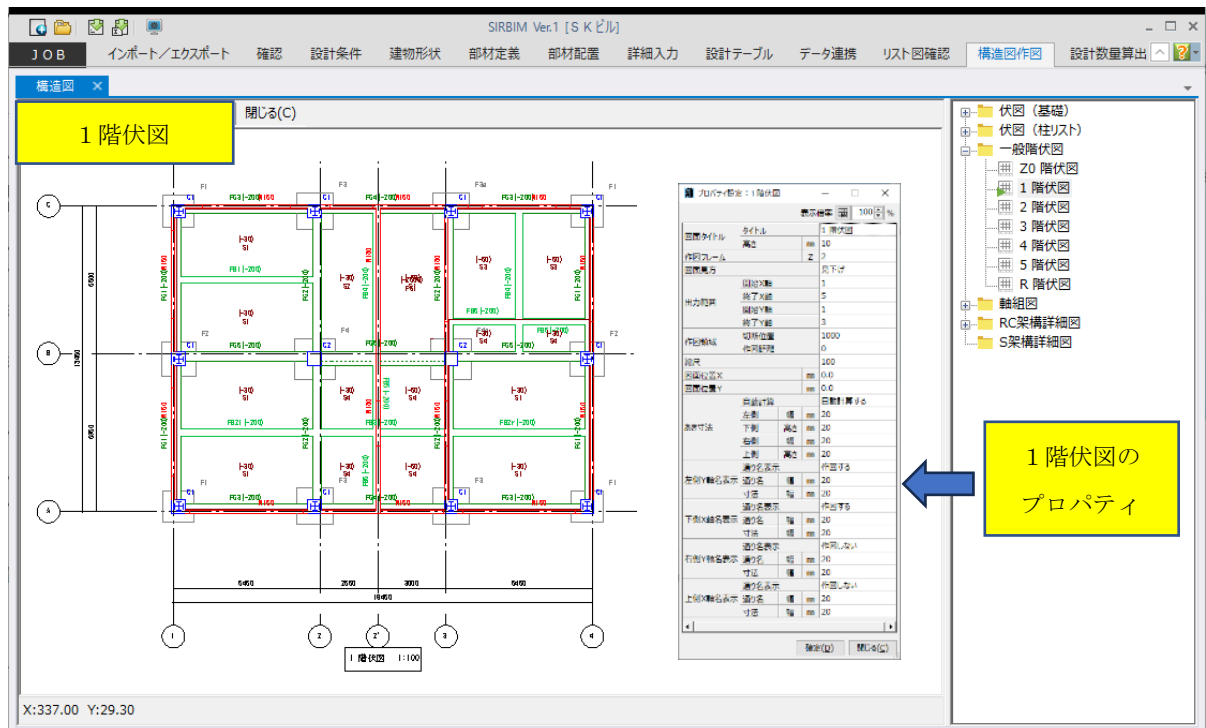
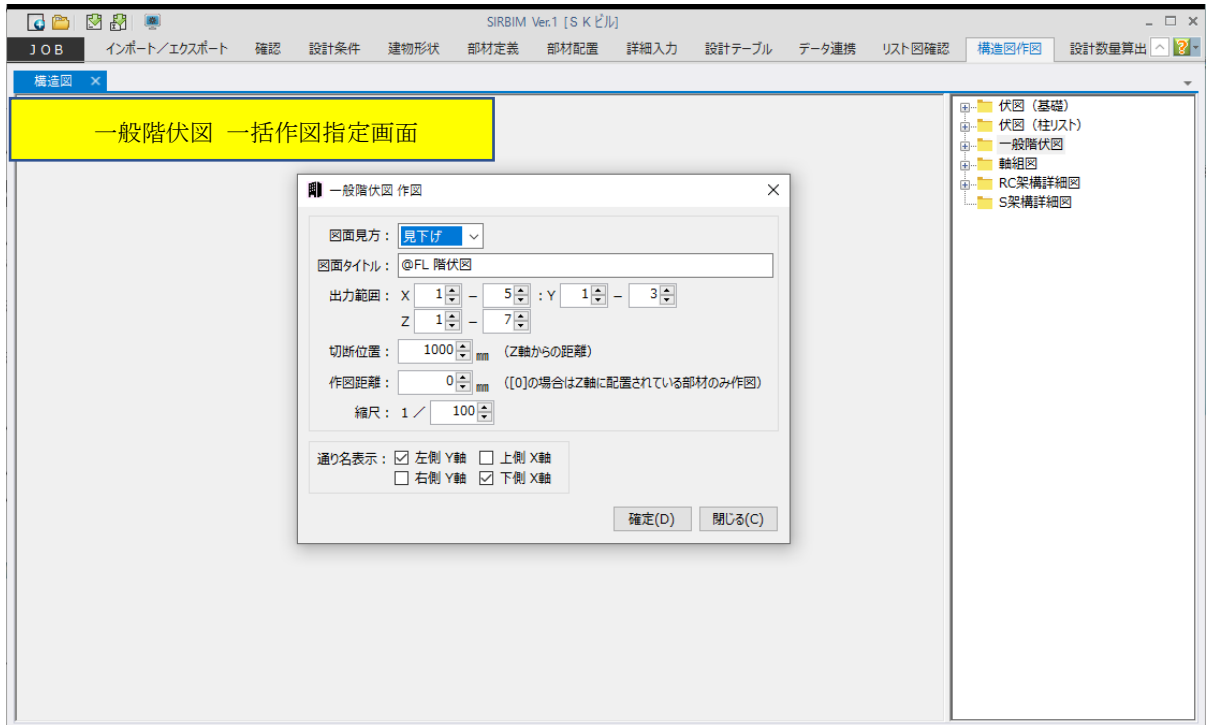




#### 4. 『SIRBIM／構造図』に関する機能

- ① 構造図（伏図、軸組図、RC 架構詳細図、S 架構詳細図）の一括作図、CAD 出力機能
  - ・ 各項目毎に一括で作図して、一括で CAD ファイル (dxf, mpx, jww) に変換可能です
  - ・ 全ての階の伏図を一括で「見上げ」で作図し、Z1 層のみ「見下げ」で作図することができます
  - ・ CAD 出力は、1 図面ごとにも出力可能です
  - ・ 構造図の作図は、フリー用紙に作図します
- ② 一括作図例

下記の例は、Z1～Z7 までの全層の伏図を「見下げ」で一括作図する例です



- ・ 各図面毎に、「プロパティ」情報を持っており、プロパティを変更して再作図可能です

## 5. 『SIRBIM/数量』に関する機能

① 『SIRBIM』で入力した構造躯体数量(コンクリート、型枠、鉄筋、鉄骨)の集計計算が可能です

- ・ 集計結果の根拠となる部材毎の拾った詳細情報がわかります
- ・ 鉄筋は、直線材、円弧材など形状パターンで拾っています
- ・ 鉄筋以外は、積算基準に従い、鉄筋は配筋指針に従って拾っています

② エクセル形式で出力し、集計項目をタブで切り替えて表示できます

③ 集計結果をエクセルに出力可能にしました

数量根拠画面

符号	階	位置				形状				コンクリート				型枠				種別						
		X1	Y1	X2	Y2	B (mm)	D (mm)	B (mm)	D (mm)	Lx (mm)	増高 (mm)	ハンチ (mm)	みだし (mm)	D (mm)	t1 (mm)	t2 (mm)	LD (mm)		B (mm)	LB (mm)	ハンチ (mm)	減 (mm)	(mm)	
G1	1	1	1	1	2	350	650	0.35	0.65	5.90			1,342	0.65	2	0.12	0.12	5.90	0.35	5.90			9,735	FC24

数量集計画面

項目	部位	独立基礎 (FU)	布基礎 (FR)	底盤 (FS)	基礎柱 (FC)	基礎大梁 (FG)	基礎小梁 (FB)	柱 (C)	大梁 (G)	小梁 (B)	床版 (S)	一般壁 (W)	地下壁 (BW)	ブレース (V)	パラペット (PA)	階段 (K)	雑 (E)	合計	土間 (D)
<数量>																		498.63	
コンクリート (m)		17.50		4.25	3.28	33.18	6.95	56.58	86.38	26.64	142.10	121.77						3,380.57	
型枠 (m)		35.55		21.84	166.04	46.30	420.79	668.13	230.88	247.53	1,543.51							57,889.26	
鉄筋 (kg)		565.02		463.76	812.66	3,652.82	761.56	7,481.44	11,642.51	3,005.86	15,305.87	14,197.76							
<延床面積当り>																		0.45	
コンクリート (m/m)		0.02		0.00	0.00	0.03	0.01	0.05	0.08	0.02	0.13	0.11						3.07	
型枠 (m/m)		0.03		0.02	0.02	0.15	0.04	0.38	0.61	0.21	0.22	1.40						52.54	
鉄筋 (kg/m)		0.51		0.42	0.74	3.32	0.69	6.79	10.57	2.73	13.89	12.89							
<コンクリート当り>																		6.78	
型枠 (m/m)		2.03		6.67	5.00	6.67	7.44	7.73	8.67	1.74	12.68							116.10	
鉄筋 (kg/m)		32.28		109.15	248.07	110.10	109.64	132.23	134.78	112.82	107.71	116.59							
延床面積 =		1,101.80 (m)																	

## 6. 設計変更に対応した差分更新ツール（標準機能）

- ① 一貫構造計算データを『SIRBIM』にインポートし、小梁、スラブ、梁レベル、柱の寄りなどの付加情報を入力したと想定します。その後、設計変更があった場合、その一貫構造計算データを『SIRBIM』にインポートします。両データの差分情報を作成し、追加／削除／変更の属性により色分けして、部材定義、部材配置毎に視覚的に確認する事ができます。
- ② 各部材毎の差分更新リストが表示されますので、その行を指定すると、プロパティリストに差分更新情報が表示されます。更新する／しないのチェックボックスがあり、選択できます。
- ③ 各配置部材は、固有の **GUID** を持っています。同じ位置に配置された部材の **GUID** は変更されること無く、配置情報が更新されます。この **GUID** を活用する事により、BIM ソフト（ArchiCAD、Revit）とのスムーズな連携が可能になります。

### (更新 JOB、差分 JOB と更新後の JOB 指定)

(XY 通り軸と階高の差分情報)

(更新する部材指定)

The screenshot shows a dialog box for '差分更新' (Difference Update). It includes fields for '更新JOB (Base)', '差分JOB (変更)', and '更新後JOB'. Below these are checkboxes for '設計条件', '建物標準設定', '鉄筋材料', '鉄筋手設定', '梁端部定着設定', '柱梁フカン配筋設定', '部材定義', and '部材配置'. A table shows X and Y coordinates for different jobs. To the right, another dialog box shows '更新する部材指定' (Specify components to update) with checkboxes for '基礎', '柱', '梁', '壁', '鉛直ブレース', '水平ブレース', '簡柱', '小梁', 'スラブ', and '雑壁'.

### (部材定義の差分情報)

### (部材配置の差分情報)

The screenshot shows two side-by-side views of the '差分更新確認' (Difference Update Confirmation) dialog. The left view shows '部材定義' (Component Definition) with a table of components and their properties. The right view shows '部材配置' (Component Configuration) with a table of component placements and their properties. Red boxes highlight the tables in both views, and arrows point from these boxes to the '更新リスト' (Update List) and '更新情報 (プロパティ)' (Update Information (Properties)) labels below.

更新リスト

更新情報 (プロパティ)

## 7. SIRBIM(Ver1)の製品別リリース時期

製品名	リリース予定時期
SIRBIM／入力	2023年6月 リリース済
SIRBIM／リスト図	
SIRBIM／数量	
オプション SNAP コンバータ	
オプション TSS コンバータ (鉄骨)	
オプション TSS コンバータ (鉄骨+RC)	
SIRBIM／構造図 (伏図、軸組図、詳細図)	2024年1月10日
SIRBIM／構造図・躯体図 (伏図、軸組図、詳細図、躯体図)	2024年3月頃

※「差分更新ツール」(標準機能)は、2024年1月10日にリリースいたします。

(関連製品：BIMソフトとの連携)

製品名	リリース予定時期
<b>SIRBIM 連携 for Archicad</b>	2023年7月リリース済
Op1) SIRBIM 差分インポート	2024年5月頃
Op2) Archicad⇒SIRBIM 差分エクスポート	未定
<b>SIRBIM 連携 for Revit</b>	2023年7月リリース済
Op1) SIRBIM 差分インポート	2024年1月10日
Op2) Revit⇒SIRBIM 差分エクスポート	未定

## 8. SIRCAD および関連製品の販売終了および保守停止について

### ① SIRCAD(Ver6)製品および関連製品の販売終了

『SIRCAD』の後継製品『SIRBIM』がリリースされたことに伴い、『SIRCAD(Ver6)』の販売を**2025年6月**までとさせていただきます。

### ② SIRCAD 製品および関連製品の保守終了

『SIRCAD(Ver6)』製品および関連製品の販売終了に伴い、保守の契約更新を**2025年6月**までとさせていただきます。

## ■動作環境

- ・ OS : Windows10,11 (64bit) (.Net Framework4.8 以上がインストールされていること)
- ・ 画面解像度 : 1920×1080 ピクセル以上
- ・ メモリー : 8GB 以上 (推奨 32GB 以上)

お問い合わせは

---



**株式会社 ソフトウェアセンター**

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-6-2 大和ビル 6F  
TEL (03)3866-2095(代表)・FAX (03)3861-0449  
<https://www.scinc.co.jp/>